

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和8年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
01545斜里町	②学校と地域の課題	05 その他	知床世界自然遺産を有する地域に在住しながらも、対外的な地域の価値や評価を実感できない児童生徒がいることや、人口規模が少ない地域のため、都市部と比較して社会的な経験の機会が少ない状況がある。	総合的な学習の時間や放課後学習における地域人材を活用した学習の機会を創出する。	地域人材の積極的な活用により、通常の学習活動では得られない体験機会の創出につながったことから、継続した取組が必要である。	地域資源や地域人材を活用した特色ある学校づくりを促進する中で、地域や社会に触れながら多様な経験を深めることで、子どもたちの自己肯定感を高める。	全国学力調査「地域や社会を良くするために何かしてみたいと思いますか？」で肯定的な回答・上段:小学6年／下段:中学3年	83.4 75.0	%	85.0 76.0	79.1 73.1	02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる 現状値及び目標値を下回る結果となり、「地域のために関わりたい」という能動的な動機付けには至らなかったが、地域の人や文化等を取り上げた授業を通して、地域への関心を醸成と対外的な地域の魅力を認識することへの一助に繋がったと考えられる。